

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																															
麻生美容専門学校	昭和14年3月29日	林 宏治	〒 812-0016 (住所) 福岡市博多区博多駅南1-13-16 (電話) 092-415-2373																															
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																															
学校法人麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒 820-0018 (住所) 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999																															
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																													
衛生	衛生専門課程	美容科	平成15(2003)年度		平成25(2013)年度																													
学科の目的	本学科は美容師に必要な知識技能を修得せしめ、社会に有意有能なる実践的人材を育成することを目的とする。																																	
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	取得可能な資格:美容師国家資格 進路変更や健康上の理由による退学者により、中退率:7.7%																																	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																											
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 69 単位	- 単位時間 25 単位	- 単位時間	- 単位時間 44 単位	- 単位時間	- 単位時間																											
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)																															
228 人	180 人	1 人	1 %																															
就職等の状況	<table border="1"> <tr><td>■卒業者数(C)</td><td>81</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職希望者数(D)</td><td>72</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職者数(E)</td><td>72</td><td>人</td></tr> <tr><td>■地元就職者数(F)</td><td>34</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職率(E/D)</td><td>100</td><td>%</td></tr> <tr><td>■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)</td><td>47</td><td>%</td></tr> <tr><td>■卒業者に占める就職者の割合(E/C)</td><td>89</td><td>%</td></tr> <tr><td>■進学者数</td><td>0</td><td>人</td></tr> <tr><td>■その他</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・就職希望せず 3名 ・結婚 1名 ・家事手伝い 5名 就職指導内容:就職オリエンテーション、三者面談、クラス担任との面談、就職担当との面談等 (令和 4 年度卒業者に関する令和 5 年 5 月 1 日時点の情報)</p> <p>■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) 株式会社大國屋、株式会社トニーアンドガイジャパン、株式会社アトリエエムエイチなどの美容業界企業</p>						■卒業者数(C)	81	人	■就職希望者数(D)	72	人	■就職者数(E)	72	人	■地元就職者数(F)	34	人	■就職率(E/D)	100	%	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	47	%	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	89	%	■進学者数	0	人	■その他			
■卒業者数(C)	81	人																																
■就職希望者数(D)	72	人																																
■就職者数(E)	72	人																																
■地元就職者数(F)	34	人																																
■就職率(E/D)	100	%																																
■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	47	%																																
■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	89	%																																
■進学者数	0	人																																
■その他																																		
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載</p> <p>評価団体: _____ 受審年月: 年 月 _____ 評価結果を掲載したホームページURL _____</p>																																	
当該学科のホームページURL	https://asojuku.ac.jp/abc/beauty/																																	
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	<p>(A: 単位時間による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位時間</td></tr> </table> <p>(B: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>69 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>44 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>61 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>44 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>0 単位</td></tr> </table>						総授業時数	単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間	うち必修授業時数	単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位時間	総授業時数	69 単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	44 単位	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位	うち必修授業時数	61 単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	44 単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位
総授業時数	単位時間																																	
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間																																	
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間																																	
うち必修授業時数	単位時間																																	
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間																																	
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間																																	
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位時間																																	
総授業時数	69 単位																																	
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	44 単位																																	
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位																																	
うち必修授業時数	61 単位																																	
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	44 単位																																	
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位																																	
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位																																	
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>12 人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>2 人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14 人</td> </tr> </table> <p>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数 14 人</p>						① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	12 人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2 人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人	計	14 人																
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	12 人																																	
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2 人																																	
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人																																	
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人																																	
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人																																	
計	14 人																																	

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

厚生労働省の指針に合わせ、美容業界で即戦力として活躍できる美容師としての基礎をしっかりと学び、2年間での美容師国家資格取得を目指す。また世界基準の世界規模サロンであるTONI&GUY国際基準資格(カット基礎)の取得をはじめ、最先端技術と人間性・創造性を併せ持つ「世界基準の美容師」を目指す。また、適宜に教育課程編成委員会を開催し授業内容などについて確認を行うとともに、企業等より実習授業および教員に対する研修を組織的に行う。実務実習を行うことで企業からの要望も教育に取り入れる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

専門性に関する動向や方向性などについて意見交換を通じ、より実践的な職業教育の質を確保することを目的としている。委員会では次の事項を審議し、会議の結果を学科内でのカリキュラム会議に報告、反映する。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実および改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
七種 丈	NPO法人日本ビューティ・コーディネーター協会	令和5年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
飯笹 豪	FAVOR	令和5年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
林 宏治	麻生美容専門学校 校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
渡邊 正明	麻生美容専門学校 校長代行	令和5年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
山口 薫	麻生美容専門学校 主任	令和5年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
西依 優	麻生美容専門学校 副主任	令和5年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—
遠藤 広美	麻生美容専門学校 副主任	令和5年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年9月20日 15:00～17:00

第2回 令和5年2月22日 17:00～18:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

本校教育における就職後の“即戦力”についてシャンプーが出来ることやグレイカラーの塗布が出来ることなどに重点をおいて進める。企業・サロンの協力を仰ぎ構想を練りカリキュラムに取り入れる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

美容業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として、美容実習やヘアテクニック課目の一部、また専門選択各コースにおいて協力企業が講師として実際に学生に指導を行うことで実務に関する知識、技術及び技能について組織的に教育を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

美容実習の一部で行う実務実習では30時間を基本としたサロンワークを行い、実習受け入れサロンより学生個々の評価をいただく。

ヘアテクニックでは、TONI&GUY認定講師である本科教員がベーシック3パターンを学生に指導するとともに、修了試験においてはTONI&GUY本部講師を招いて、合格基準に達している学生ヘディプロマを発行する。

専門選択コース(1年次:ヘアデザイナーカッティングコース、2年次:ヘアデザイナーコース、ヘアメイクアップアーティストコース、ブライダルスタイリストコース)ではそれぞれその分野に特化した企業が授業を行い、シラバス記載の評価項目に基づき評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
美容実習	原則として30~60時間の間で美容室にて現場実習	株式会社SARA 株式会社FAVOR など
ヘアテクニック	1年次にTONI&GUYベーシックコースを修了	株式会社トニーアンドガイジャパン
専門選択	ヘアデザイナーコースにてフレンチカット技術、カラー塗布技術の履修 ヘアデザイナーカッティングコースにてカット技術、スタイルの考え方および作り方を学ぶ ヘアメイクアップアーティストコースにて作品づくり ブライダルスタイリストコースにてブライダルヘアメイクおよびドレスフィッティング	株式会社change 株式会社アトリエエムエイチ 株式会社田谷 資生堂美容室株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

教職員に対して現在就いている職務または将来的に就くことが予想される職務の遂行に必要な知識や技能を修得させ、更なる能力や資質向上を目的とし研修の受講を促す。「教職員研修規程」に則り専攻分野における実務に関する研修や指導力の修得、向上の為の研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業課目、授業以外の担当業務に応じて実施。より高度な職務遂行が行えることを目標とする。研修計画を作成し、各教職員のスキルやレベルに適した研修を計画的に受講できるように図る。また必要に応じ研修計画以外の研修受講も受講可能とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	TONI&GUY認定講師資格更新研修	連携企業等:	株式会社トニーアンドガイジャパン
期間:	令和4年9月27日および28日	対象:	7名
内容:	認定講師資格更新研修		
研修名:	まつ毛エクステンション指導者養成研修	連携企業等:	日本理容美容教育センター
期間:	令和5年2月13日～17日および2月27日～3月3日	対象:	1名
内容:	まつ毛エクステンション指導者資格取得		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	一人ひとりのわくわくエンジンが未来をつくる	連携企業等:	認定NPO法人キーパーソン21
期間:	令和4年6月23日	対象:	1名
内容:	学生の多様化が進む中、学生一人ひとりへの対応の仕方		
研修名:	専門学校改革セミナー	連携企業等:	株式会社穴吹カレッジサービス
期間:	令和4年12月21日	対象:	1名
内容:	多用化する学生を受け入れるに際し事前に必要となること		

(3)研修等の計画	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: TONI&GUY認定講師資格取得研修	連携企業等: 株式会社トニーアンドガイジャパン
期間: 令和5年8月2日～4日	対象: 1名
内容: 認定講師資格取得研修	
研修名: TONI&GUY認定講師定例研修	連携企業等: 株式会社トニーアンドガイジャパン
期間: 令和5年8月17日	対象: 1名
内容: フォトコンテスト等の指導について	
研修名: 即戦力養成講習会	連携企業等: 九州地区理容師美容師養成施設協議会
期間: 令和5年9月29日	対象: 1名
内容: ヘッドスパ/頭部のセット技術	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: LGBTの理解	連携企業等: NPO法人 カラフルチェンジラボ
期間: 令和5年7月26日	対象: 4名
内容: LGBT等の性的マイノリティについて理解するとともに、学生個々の価値観を大切にした指導・支援のあり方を学ぶ。	
研修名: セルフマネジメント～困難な状況でも平静を保つために～	連携企業等: オフィス シックスエイト
期間: 令和5年8月22日	対象: 2名
内容: 困難な状況においても、平常心を保って適切な対応ができるようになるために、具体的には事実を単なる事実としての的確に捉え、自分の中に沸き起こる感情に惑わされることなく、判断し対応する方法を学ぶ。	
研修名: 授業におけるファシリテーション対面授業編	連携企業等: 株式会社ONDO
期間: 令和5年8月24日	対象: 1名
内容: ファシリテーションの場面設定、意見の引き出し方、意見のまとめ方、板書のコツなど、対面授業時のファシリテーションのポイントについて学ぶ。	
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係	
(1) 学校関係者評価の基本方針 学校の基本方針に基づき、学校運営が適正に行われているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公開することにより開かれた学校づくりを行う。	
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規程、業務効率化、他
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5) 学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11) 国際交流	留学生の受入れ、支援体制
※(10)及び(11)については任意記載。	
(3) 学校関係者評価結果の活用状況 卒業生関係者の委員より在職者の中でも本校卒業生は他の同期と比較して考え方がしっかりしているとのこと意見を頂いた。GCB教育等の成果が現れているものと認識し今後の在学生についても同様以上の指導を心掛け、社会で評価いただける人材づくりに貢献を続ける。 また地域住民関係者の委員よりボランティアでの清掃活動協力のお願いがあり、要請があった際には迅速に取り組める体制を整えている。	

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
林 圭一	博多駅南1丁目 1区自治会長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
延 憲治郎	博多駅南1丁目 1区自治会長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	高等学校関係者
浦川 美代子	博多駅南1丁目 1区自治会長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	地域住民
秋永 慶子	美容科2年 保護者等	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	保護者等
奥野 祐希	プランツヘアー 代表	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/abc/2023/hyoka.pdf>

公表時期: 令和5年9月29日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方
(2) 各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、コンテスト実績、就職実
(3) 教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5) 様々な教育活動・教育環境	学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6) 学生の生活支援	生活環境サポート、留学生キャンパスライフ
(7) 学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援(各種支援制度)
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	留学生入学案内、留学生学べる分野、グローバル教育
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://asojuku.ac.jp/abc/>

公表時期: 令和5年7月31日

授業科目等の概要

(衛生専門課程 美容科) 令和5年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			関係法規・制度	1 衛生行政 (1)衛生行政の意義 2 美容師法 (1)法の目的 (2)美容師に対する法的規制 (3)美容所に対する法的規制	1後	30	1	○			○			○	
	○			衛生管理	1 公衆衛生概説 (1)公衆衛生の意義 (2)公衆衛生と美容業 (3)保健所の業務 2 感染症 (1)美容所における感染症対策 3 環境衛生 (1)環境衛生の意義と目的 (2)美容所における環境衛生 4 衛生管理技術 (1)美容所における衛生管理の意義と目的 (2)消毒法の選択と実施方法 (3)消毒法の実習	1前・2通	90	3	○			○		○	○	
	○			保健	1 人体の構造及び機能 (1)人体の構造及び機能と疾病との関連 2 皮膚科学 (1)皮膚の構造 (2)皮膚付属機関の構造 (3)皮膚の循環器系と神経系 (4)皮膚と皮膚付属機関の生理機能 (5)皮膚と皮膚付属機関の保健 (6)皮膚と付属器官の疾患	1前・2通	90	3	○			○		○	○	
	○			香粧品化学	1 香粧品概論 (1)香粧品の社会的意義と品質特性 2 香粧品用原料 (1)香粧品の対象となる人体各部の性状 3 基礎化粧品 (1)皮膚清浄用香粧品 4 メイクアップ用香粧品 (1)メイクアップ用香粧品の種類と錠形 5 頭皮・毛髪用香粧品 (1)シャンプー剤、スタイリング剤 6 芳香製品と特殊香粧品 (1)芳香製品	1後・2後	60	2	○			○		○	○	
	○			文化論	1 美容文化史 (1)美容ファッションの変遷 (2)美容業における流行の意義と役割 2 服飾 (1)美容における服飾の意義 (2)衣服に関するエチケット	1後・2後	60	2	○			○			○	
	○			美容技術理論	美容技術理論を学ぶにあたって 1 美容用具 2 シャンプーイング 3 ヘアデザイン 4 ヘアカットイング 5 パーマネントウェービング 6 ヘアセッティング 7 ヘアカラーリング 8 エステティック 9 ネイル技術 10 メイクアップ 11 日本髪 12 着付けの理論と技術	1通・2通	150	5	○			○		○		

(衛生専門課程 美容科) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
7	○		運営管理	1 経営管理 (1)美容業における経理事務 2 労務管理 (1)美容業における労務管理 3 接客法 (1)サービス・デザイン (2)マーケティング (3)サービスにおける人の役割	2 後	30	1	○			○			○	
8	○		美容実習	1 器具の取扱実習 2 基礎技術実習 3 頭部技術実習 4 特殊技術実習 5 和装技術実習 6 総合実習 7 実務実習	1 通・ 2 通	900	30			○	○	○	○	○	○
9	○		ヘアテクニック	1 ヘアカット 2 シャンプー&ブロー 3 ヘアカラー 4 ヘアセット&着付け	1 通・ 2 通	180	6			○	○		○	○	○
10	○		美容教養	1 ファッション 2 デッサン 3 カラーコーディネート 4 起業実務 5 美容業界研究 6 接遇	1 通・ 2 通	180	6	○			○		○	○	
11		○	専門選択	(1年次) ヘアデザイナーカッティングコースまたはトータルビューティ コース (2年次) ヘアデザイナーコースまたはヘアメイクアップアーティストコ ースまたはプライダルスタイリストコース	1 通・ 2 前	240	8			○	○		○	○	○
12	○		GCB	1 感謝心と思いやり 2 志を立てる	1 前・ 2 前	30	2	○			○		○		
合計						12	科目	69単位(2040) 単位 (単位時間)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	<ul style="list-style-type: none"> ・学則に定める修業年限以上在学し、指定された課目を全て修得しなければならない。 ・各授業科目における3分の2（実習を伴う科目は5分の4）以上出席していること。 	1学年の学期区分	2期
履修方法：	<ul style="list-style-type: none"> ・学則に定める教育課程に基づき指定された必修科目、選択科目および一般科目を全て履修すること。 ・授業科目は、定められた年次に履修しなければならない場合がある。 ・指定された履修年次に単位を修得できなかった科目は、原則として、次の学期または学年に再履修しなければならない。 	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。